

1

世界とかかわる私

日本に生きる私たちは、どのように世界との関係を築いていけばよいのでしょうか。



① 世界文化遺産サグラダ・ファミリア (現在も建築中, 右上写真) の主任彫刻家, そと おえつろう 外尾悦郎さん (スペイン・バルセロナ)

12~13-1



② 外国人シェフに「だし」について教える料理人の村田吉弘さん (右) (京都府京都市)



他に海外で活躍する日本人を探してみよう。

12~13-2









に廊下<sup>ろうか</sup>に出ちゃった。

そうしたらイギリス人のお年寄りのシスターが見ていたらしく、すごく叱<sup>しか</sup>られた。彼女らが言ったのは「To be international, be national.」ということでした。つまり、よい国際人になろうと思ったら、まずその国の人として立派になりなさいと教えられたんです。

人は一つの国家にきっちりと帰属<sup>きぞく</sup>しないと、「人間」にもならないし、他国を理解することもできないんです。「地球市民」なんていうものは現実的にあり得ない。むしろそれぞれの違<sup>ちが</sup>いを承<sup>しょう</sup>認<sup>にん</sup>して、相手が困<sup>こま</sup>ったときに手助けを  
するとか、違いを超えて相手を受け入

12~13-11

れられる人がインターナショナルということだと思います。

(曾野綾子<sup>そのあやこ</sup>著『夫婦口論<sup>ふうふこうろん</sup>』から抜粋<sup>ぼつすい</sup>)



グローバル化によって、私たちの生活に見られる変化を話し合ってみましょう。

12~13-12